

意識改革とリサイクルを推進。 趣味は鮎釣り。



井田社長

大成環境株式会社

(愛知県小牧市)

小牧市郊外において、産業・一般廃棄物処理業の収集運搬を行われている大成環境株式会社に伺い、井田社長にお話をいただきました。——何年頃から環境衛生事業の世界に入られたのですか。きっかけは何だったのでしょうか。

井田社長（以下井田に略）『創業は昭和48年です。私は以前、大阪で水道業をしていましたが、縁あってこちらの小牧市に来てここでも水道業を行いましたが、なかなか公認が取れずという時があり一時期、喫茶店もやっていました。この業界に入るそもそのきっかけは、以前住んでいた住まいの隣に衛生課の課長補佐がいらっしゃって、これからは廃棄物処理業が必要な職種になると言われ、一念発起して飛び込んだわけです。』

——では、この仕事に対してどのようにお考えになって取り組まれていますか。

井田『まず、私たちの仕事はゴミ屋ではないということ。そして地域にこれほど貢献している仕事はないと思っています。従業員にもいつも胸を張って仕事をするようにいっています。意識改革ですね。あとはまっすぐに努力していけば、いずれ皆様が評価してくれます。』

——現在の施設の体制を簡単に教えていただけますか。

千田『破碎機と焼却炉を備えた中間処理場と収集運搬車輛というところでしょうか。中間処理場はお陰様で手狭になってきたので、近隣に移すことができると考えているところです。』

——今年の目標は何ですか。

千田『先程の従業員の意識改革とリサイクルの推進、そして運転手に重機の免許を取得させる



社名/大成環境株式会社 所在地/愛知県小牧市大字林字西山1909-3
代表者/井田信一 創業/昭和48年 従業員/25名 TEL/0568(78)0277
事業所/本社 営業種別/収集運搬
取扱物品目/腐プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

ことです。この3つでしょうか。』

——話題を変えて、社長の趣味は何ですか。

千田『鮎釣りです。私は奈良県の出身なのですが、小学4年生の時に祖父に1年間かけて鮎釣りのなんたるかをじっくり教えてもらって以来、これ一本槍です。実家の下が吉野川で、子供の頃は年間700~800匹は釣りました。もちろん、いまでもシーズンになると朝3時頃に出発して鮎釣りにいそしんでいます。仕事のことを一切忘れて。』

——大会などには出場されないのですか。

千田『“ダイワ”や“がまかつ”などの大会に出ていますよ。』

——鮎釣りは通年楽しめるものではありませんが、シーズンオフは何をしていらっしゃるのですか。

千田『来シーズンのことを考えて、日々を楽しみに過ごしています。』